

0歳児

「いないいないばあ」



土管の穴の中を見ていたので、保育士が反対から「いないいない…」とかくれます。園庭のハウス、すべり台の下、絵本など保育士がいろいろな場所やものにかくれるたびに、のぞき込んだりじーっと見ています。「ばあ」と顔を出すと目が合いにっこり笑います。

繰り返し遊ぶうち、お昼寝の時に毛布をかぶり「ばあっ」と顔を出し、今度は私が笑顔をもらいました。今では「いないいないばあ！」がマイブームです。



いないいない



ばあっ！

1歳児

「だるまさんがころんだ！」



年上の友だちがしているのをまねして「だるまさんがころんだ」と木や柱のところで言い始めました。すると、1歳児なりの遊び方ですが、他の子は笑顔で止まったり、ゆっくり進んだりして鬼に近づいていきます。

言葉を繰り返し言う楽しさ、自分が言うことでみんなが動く面白さ、鬼にタッチして追いかけられるドキドキなど様々なことを感じているようです。保育士も一緒に役割を交代しながら、繰り返し遊んでいます。

「かくれんぼ」

2歳児

保育士が「1、2、3...10」と数え「もういいかい？」と言うと「まあだよ。」「もういいよー。」と声が聞こえてきました。探しに行くと、友だちと一緒に場所に隠れ、見合ったり、じっと待っています。「見つけた。」の声に、子どもたちは笑顔で駆け寄り「またしよう！」とかくれんぼが続きます。隠れているときのドキドキや見つかる嬉しさを感じていました。

繰り返し遊ぶうちに、今度は「ぼくがかぞえるね。」と、役割を交代しながらかくれんぼを楽しんでいます。

